

渥美俊一著「チェーンストアのための経営情報」

2007年8月号日本リテーリングセンター刊を読む

チェーンストアにおける店長の仕事とは

店長は売上の責任者ではなくて作業の責任者というチェーンストアのあるべき理論体系が最初から常識になっていました。私はこのあと、この企業(西松屋)が1000店突破し、2000店突破していく過程で、日本のチェーンストアにおける大変に大事な実験モデルをつくり上げるかと期待しております。

P.92

[コメント]

チェーンストアにおける店長の仕事は売上げの責任者ではなくて作業の責任者であるという渥美先生の考えは、チェーンストアというものごとの本質を突き詰めた結論と考える。

完全な作業とは何か、作業の内容はどのように決めるのか、売上げのもとになる商品はどのように仕入れるのか、開発するのか、議論すべきテーマはここから山のように出てくる。

1つ1つの議論を着実に積み上げた上で、しくみをつくって初めて西松屋のような優れた200店舗以上のチェーンストアが出来上がる。

- 2009年8月4日林明夫記 -